



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立北野台中学校

読書活動の取組

読書センターとしての機能

朝読書

朝の始業時間前の10分間を利用し、読書を行っています。読書習慣が身につき、落ち着いた雰囲気です。1日を始めることができます。

図書局の活動

図書局では、行事や季節に合わせた図書の紹介、展示物の作成をととして読書の楽しさを伝えています。10月10日から始まった読書週間では、本との出会いを楽しむことを目的に「スタンプラリー」と「絵本の読み聞かせ」を行いました。絵本の読み聞かせでは、放送で参加を呼びかけたり、本のポップやポスターを作成したりして、それぞれの役割に責任をもって取り組んでいました。



学習センターとしての機能

1学年「生き方を考える」

総合的な学習の時間

総合的な学習では、Chromebookや図書館にある職業に関する図書やインタビュー記事を活用し、将来つきたい職業について考えたり、調べたりしました。

1・2学年国語科

本のポップ制作と紹介スピーチ 「読書の楽しさを伝えよう」

国語科では、本のポップ制作と他学年へ向けた図書を紹介するスピーチの授業が行われています。完成した本のポップを手を、図書館の本や、持参したお気に入りの1冊について、言葉に工夫を凝らし、表現を深めてスピーチする姿がみられました。

情報センターとしての機能

1学年国語科：図書館オリエンテーション

1年生は入学後に、図書館で館内の利用の仕方や日本十進分類法について学びます。読書や学習の際に図書館や情報を活用できるようにすることを目的としています。

雪に親しむ

雪の台フェスティバルに向け、図書局の活動内で、雪に関する記事と図書を特集展示し、理解を深めるクイズを設置しました。開館時には、興味をもって足をとめる生徒の姿がみられました。

